

CASBEE® 新築[簡易版] | 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2008(v.2.0)

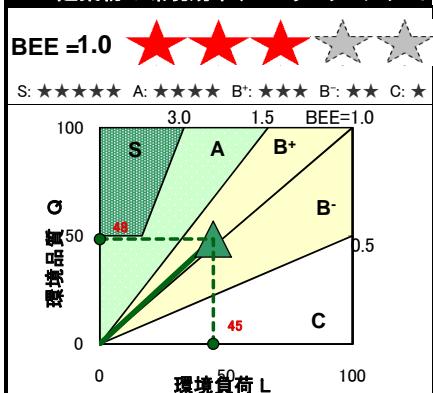
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)京都山科マンション
建設地	京都府京都市山科区竹鼻堂ノ前町
用途地域	第1種中高層住専、第2種中高層住
気候区分	地域区分IV
建物用途	集合住宅、
竣工年	2010年6月 予定
敷地面積	2,189 m ²
建築面積	1,120 m ²
延床面積	4,959 m ²

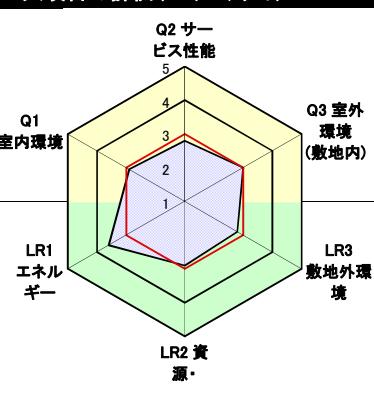
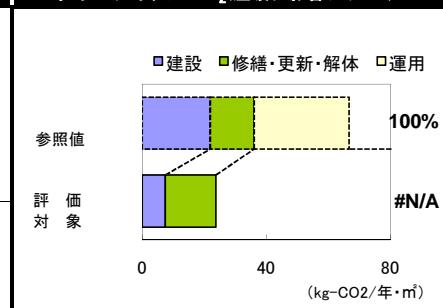
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



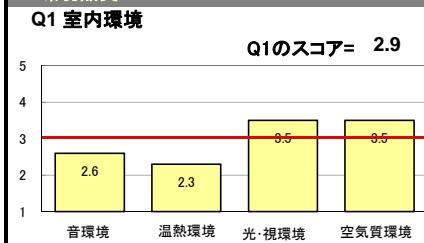
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもの

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



Q2 サービス性能

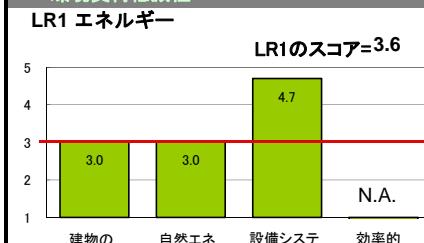


Q のスコア= 2.9

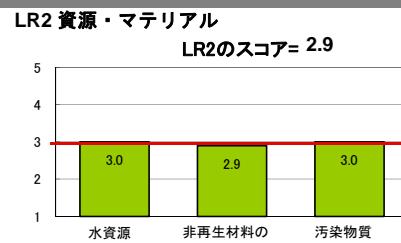
Q3 室外環境 (敷地内)



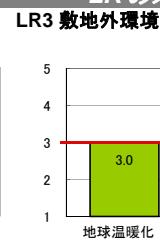
LR 環境負荷低減性



LR2 資源・マテリアル



LR のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合

周辺の環境から突出することなく、街並みになじみ長く親しまれていくように計画するとともに、住人が長く快適に暮らせるように、外部環境と調和できる生活が可能となるように配慮しています。

その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

Q1 室内環境

大きな開口部を設け、明るく開放的な室内環境を計画しています。

Q2 サービス性能

経年変化に対応できるように、耐久性の高い材料で外壁を構成しています。

Q3 室外環境 (敷地内)

街並みにとけ込むように、落ち着きのある外観とし要所に緑を設けた室外環境を計画しています。

LR1 エネルギー

住宅性能評価で等級3を取得する計画としています。

LR2 資源・マテリアル

資源については一般的なレベルを維持できるように計画しています。

LR3 敷地外環境

住棟計画において敷地外に不用意に外を及ぼさないように配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される